

(速報)消費生活相談の概要＜2024年4月～2024年9月＞

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和6(2024)年11月

令和6年度上半期(2024年4月～2024年9月)に寄せられた消費生活相談件数は、2,061件でした。前年同期と比べ、28件減少(1.3%減)しています。一方、愛知県全体では約9.6%減、全国では約5.9%減となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他※	計
2024年4月～2024年9月		1,072	502	197	74	122	13	81	2,061
構成比(%)		52.0	24.4	9.6	3.6	5.9	0.6	3.9	100.0
前年4月～9月		1,069	500	185	120	144	13	58	2,089
対前年	件数(件)	3	2	12	△ 46	△ 22	0	23	△ 28
	率(%)	0.3	0.4	6.5	△ 38.3	△ 15.3	0.0	39.7	△ 1.3

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答。

■相談窓口別件数(表1-2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		総合センター	豊川センター	蒲郡センター	新城センター	田原センター	計
2024年4月～2024年9月		1,165	505	180	95	116	2,061
構成比(%)		56.5	24.5	8.7	4.6	5.6	100.0
前年4月～9月		1,153	504	161	134	137	2,089
対前年	件数(件)	12	1	19	△ 39	△ 21	△ 28
	率(%)	1.0	0.2	11.8	△ 29.1	△ 15.3	△ 1.3

- 居住地別では、新城市と田原市を除く各地域で増加しました。
○窓口別では、新城センターと田原センターを除く各センターで増加しました。
○全体件数が減少した要因としては、インターネット通販(前年同期596件→543件)の減少が影響しています。
なお、SNS(前年同期221件→225件)と電話勧誘(前年同期159件→167件)は横ばい傾向です。

■相談者年代別件数(表2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

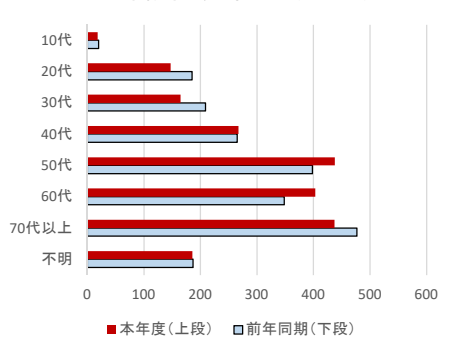
区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
2024年4月～2024年9月		18	147	165	267	438	403	437	186	2,061
構成比(%)		0.9	7.1	8.0	13.0	21.3	19.6	21.2	9.0	100.0
前年4月～9月		20	185	209	265	398	348	477	187	2,089
対前年	件数(件)	△ 2	△ 38	△ 44	2	40	55	△ 40	△ 1	△ 28
	率(%)	△ 10.0	△ 20.5	△ 21.1	0.8	10.1	15.8	△ 8.4	△ 0.5	△ 1.3

- 年代別では特に50代・60代で増加し、20代・30代・70代以上で減少しました。

【内訳・詳細】

- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、28件で大きく減少しました(前年同期45件・△37.8%)。
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、22件で減少しました(前年同期26件・△15.4%)。
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、113件で大きく増加しました(前年同期90件・25.6%)。
- ・「SNSを活用した商品購入など」への相談は、225件で増加しました(前年同期211件・6.6%)。
- ・絶対儲かると言われる、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、14件で大きく減少しました(前年同期28件・△50.0%)。

年代別相談件数(各年4月～9月)



■品目別相談件数(表3-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③	
		商品一般	保健衛生品	教養娯楽品	食料品		金融・保険	教養・娯楽	他の役務	運輸・通信			
2024年4月～ 2024年9月	1,055	265	180	141	135	956	242	157	148	122	50	2,061	
構成比(%)	51.2	12.9	8.7	6.8	6.6	46.4	11.7	7.6	7.2	5.9	2.4	100.0	
前年4月～9月	1,033	224	163	154	102	1,023	219	196	118	147	33	2,089	
対 前年	件数(件)	22	41	17	△ 13	33	△ 67	23	△ 39	30	△ 25	17	△ 28
	率(%)	2.1	18.3	10.4	△ 8.4	32.4	△ 6.5	10.5	△ 19.9	25.4	△ 17.0	51.5	△ 1.3

- ①商品計は、1,055件(前年同期比22件・2.1%)で増加しました。
商品分類では「商品一般」が最も多く、265件(前年同期比41件で18.3%)で増加しました。
次に化粧品の定期購入に関する相談を含む「保健衛生品」が180件(前年同期比17件・10.4%)で増加しました。
「教養娯楽品」は、141件(前年同期比△13件・△8.4%)で減少しました。
- ②サービス計は、956件(前年同期比△67件・△6.5%)で減少しました。
サービス分類では「金融・保険」が最も多く、242件(前年同期比23件・10.5%)で増加しました。
次に「教養・娯楽」が157件(前年同期比△39件・△19.9%)で減少しました。

■商品等別相談件数(表3-2)※上位10件

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分(順 位)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	9
2024年4月～ 2024年9月		商品一般	フリーロー ン・サラ金	役務その他 サービス	化粧 クリーム	他の 健康食品	賃貸アパート	相談その他	普通・小型 自動車	光ファイバー	携帯電話 サービス
		265	126	64	49	48	44	35	33	29	29
前年4月～9月		224	87	61	10	37	58	22	36	37	33
対 前年	件数(件)	41	39	3	39	11	△ 14	13	△ 3	△ 8	△ 4
	率(%)	18.3	44.8	4.9	390.0	29.7	△ 24.1	59.1	△ 8.3	△ 21.6	△ 12.1

- ・商品等別相談件数で最も多い「商品一般」は265件(前年比41件・18.3%)で増加しました。
- ・上位30件のうち最も増加率の大きい「化粧クリーム」は、49件(前年同期比39件・390.0%)でした。
- ・上位30件のうち最も減少率の大きい「インターネットゲーム」は、13件(前年同期比△9件・△40.9%)でした。

■販売購入形態別相談件数(表4)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分	店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外取引計	不明・無関係	計
		通信販売	訪問販売	電話勧誘販売	マルチ商法	その他			
2024年4月～ 2024年9月	464	706	142	122	14	29	1,013	584	2,061
構成比(%)	22.5	34.3	6.9	5.9	0.7	1.4	49.2	28.3	100.0
前年4月～9月	486	755	145	130	19	33	1,082	521	2,089
対 前年	件数(件)	△ 22	△ 49	△ 3	△ 8	△ 5	△ 69	63	△ 28
	率(%)	△ 4.5	△ 6.5	△ 2.1	△ 6.2	△ 26.3	△ 12.1	△ 6.4	△ 1.3

- 店舗購入は464件(前年比△22件・△4.5%)で減少しました。
- 店舗外取引は1,013件(前年比△69件・△6.4%)で減少しました。

【内訳・詳細】

- ・店舗購入では「フリーローン・サラ金」に関する相談が52件(前年24件)で最も多く、次いで「賃貸アパート」が34件(前年42件)でした。
- ・店舗外取引では「通信販売」が706件(前年755件)で最も多く、次いで、「訪問販売」が142件(前年145件)でした。
- ・「訪問販売」では「新聞」が12件(前年6件)で最も多く、次いで「蓄電池」が10件(前年4件)でした。
- ・「通信販売」では「商品一般」が51件(前年54件)で最も多く、次いで「化粧クリーム」が48件(前年10件)でした。
- ・「電話勧誘販売」では「役務その他サービス」が18件(前年12件)で最も多く、次いで「商品一般」が16件(前年19件)でした。
- ・その他に含まれる「訪問購入」は、25件(前年20件)で増加しました。

東三河広域連合 住民生活事業部消費生活課
電話:0532-26-9077 令和6(2024)年11月

